

ADWAYS

2022 NOVEMBER 2, 2022

**PRESENTATION
MATERIAL**

**THIRD
QUARTER**

東京証券取引所プライム市場 :2489
株式会社アドウェイズ

2022年12月期第3四半期 決算説明会
2022年11月2日取締役会長 岡村 陽久

目次

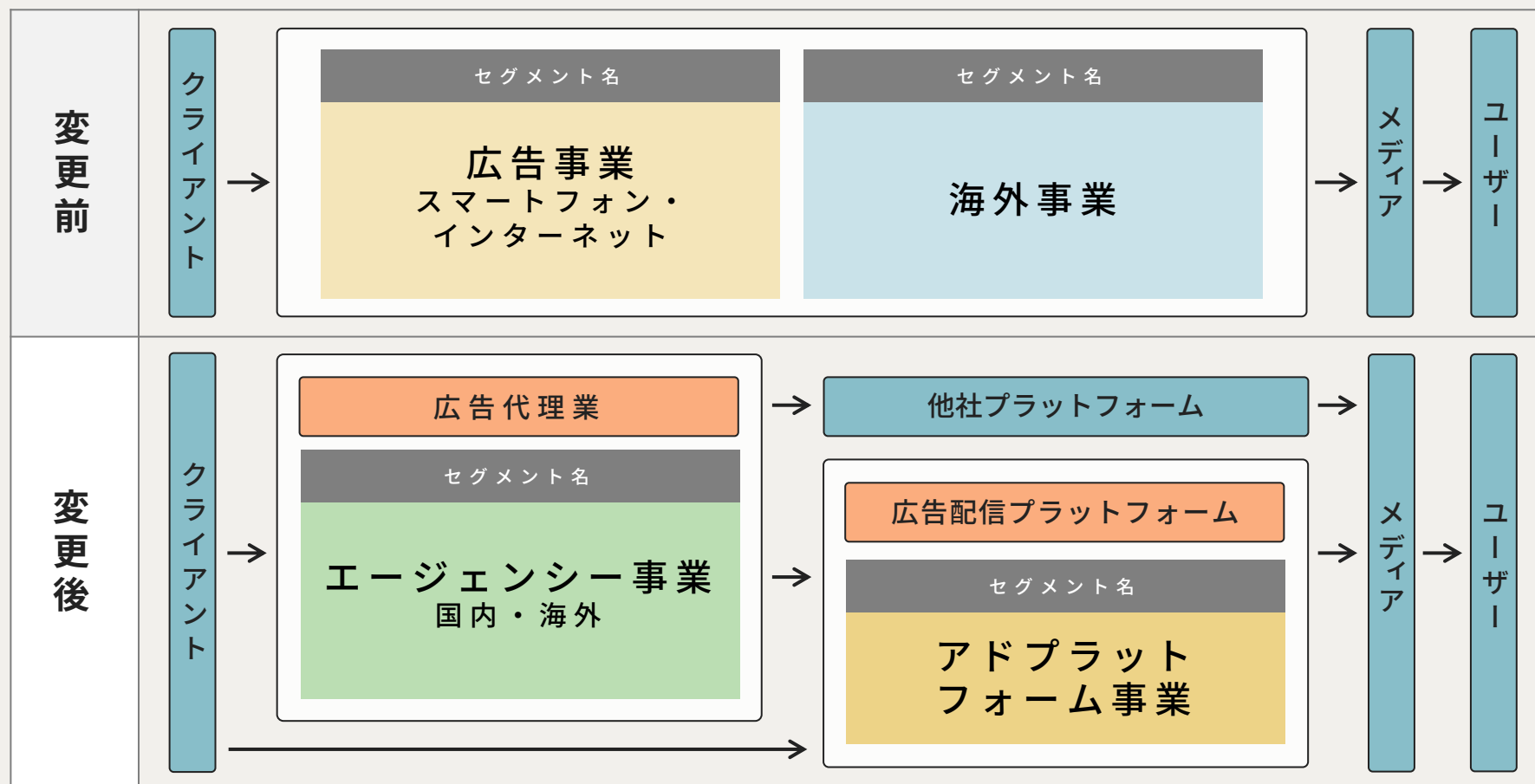
- 1. 第3四半期の業績 ...P.5
- 2. 事業概況 ...P.16
- 3. 補足資料 ...P.42

本資料における記載方法について

- ・ 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- ・ 2021年12月期より決算期を変更したため、前年同四半期比較は2021年12月期第2四半期（2021年7月～9月）と比較しております。
- ・ 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。詳細は次ページをご確認ください。
- ・ 過年度との比較のため、2021年12月期、2022年12月期の「取扱高」を参考値として記載しておりますが、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- ・ 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率（親会社株主に帰属する純利益率）、売上原価率、掲載料率は上記取扱高に対する比率を記載しております。

報告セグメントの変更

2022年12月期より報告セグメントを、包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」に変更。



※報告セグメントの国内・海外の切り分けは、変更前（2021年12月期以前）は当社グループ会社の所在地により、変更後（2022年12月期以降）はクライアントの所在地によります。

Chapter1 : **Third quarter results**

1.

第3
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[単位：百万円]

	2022年 12月期 第3四半期 (2022年7月～9月)	前年同四半期比 2021年12月期第2四半期（2021年7月～9月）			前四半期比 2022年12月期第2四半期（2022年4月～6月）		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,368	13,244	+1,124	+8.5%	14,978	▲609	▲4.1%
売上高	3,215	3,010	+205	+6.8%	3,213	+1	+0.1%
売上総利益	2,585	2,478	+106	+4.3%	2,588	▲2	▲0.1%
販管費	2,345	1,993	+352	+17.7%	2,294	+51	+2.2%
営業利益	239	485	▲245	▲50.6%	294	▲54	▲18.4%
経常利益	303	636	▲332	▲52.3%	13	+290	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	453	453	+0	+0.1%	454	▲1	▲0.2%

取扱高 前年同四半期比 **11億24百万円の増加**（8.5%増）
前四半期比 **6億9百万円の減少**（4.1%減）

営業利益 前年同四半期比 **2億45百万円の減少**（50.6%減）
前四半期比 **54百万円の減少**（18.4%減）

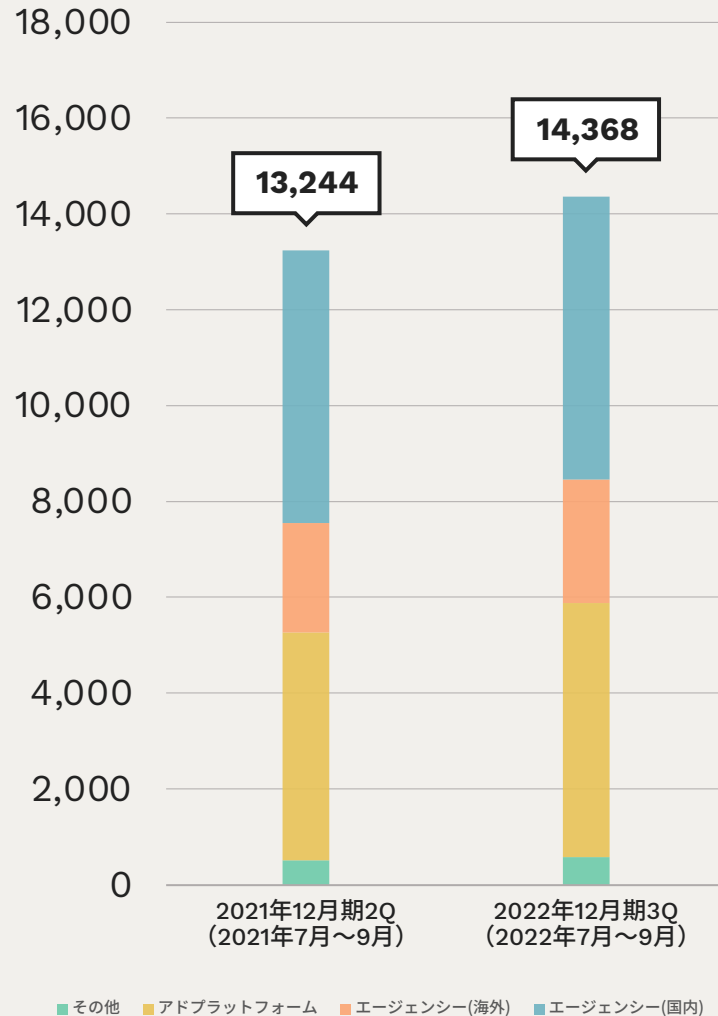
2022年12月期業績予想と実績

[単位：百万円]

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通期予想	59,000	13,800	1,420	1,690	1,360
当第3四半期実績	45,173	9,947	1,189	1,013	1,409
進捗率	76.6%	72.1%	83.8%	60.0%	103.7%

取扱高の前年同四半期比較

単位：百万円



エージェンシー・・・84億82百万円

(アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業)

前年同四半期比：5億3百万円増（6.3%増）

国内・・・59億4百万円

前年同四半期比：2億17百万円増（3.8%増）

一部のマンガアプリやゲームアプリで広告費の減少があったものの、QRコード決済アプリなどのマンガとゲームに分類されないアプリが伸長したため増加。

海外・・・25億78百万円

前年同四半期比：2億86百万円増（12.5%増）

新型コロナウイルス感染症による外出禁止等の影響で落ち込んでいた中国が回復しつつある事、台湾でのアプリ広告が大幅に伸長した事により増加。

アドプラットフォーム・・・53億3百万円

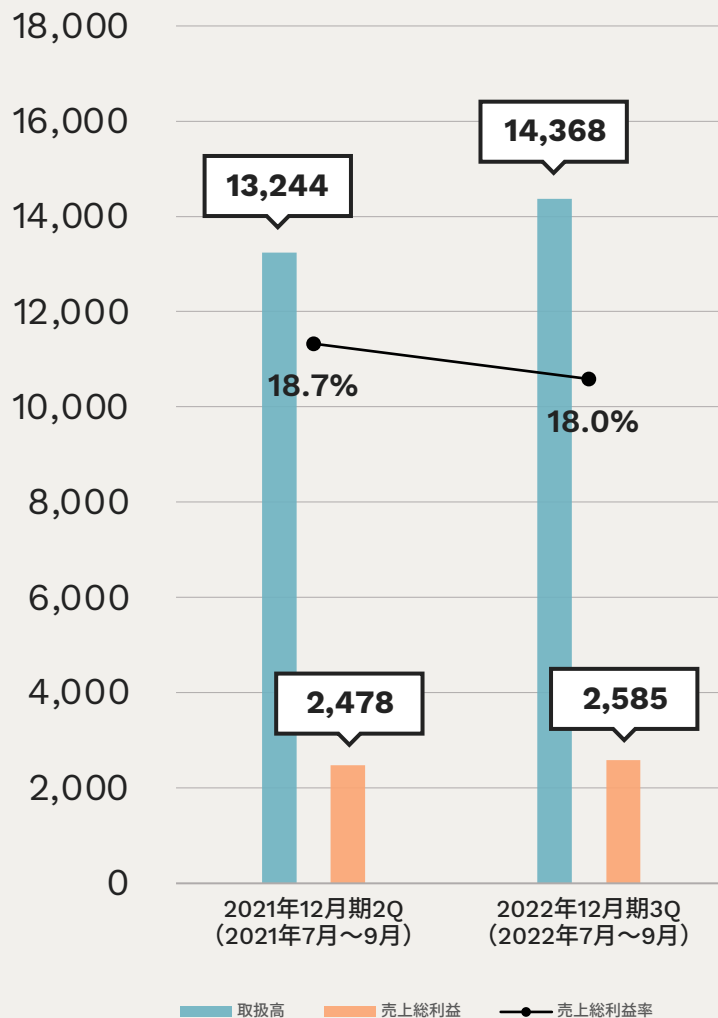
(UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業)

前年同四半期比：5億57百万円増（11.7%増）

ECカテゴリのアフィリエイトの取扱高は減少したものの、アプリと金融のアフィリエイト、UNICORNが伸長した事により取扱高が増加。

売上総利益の前年同四半期比較

単位：百万円



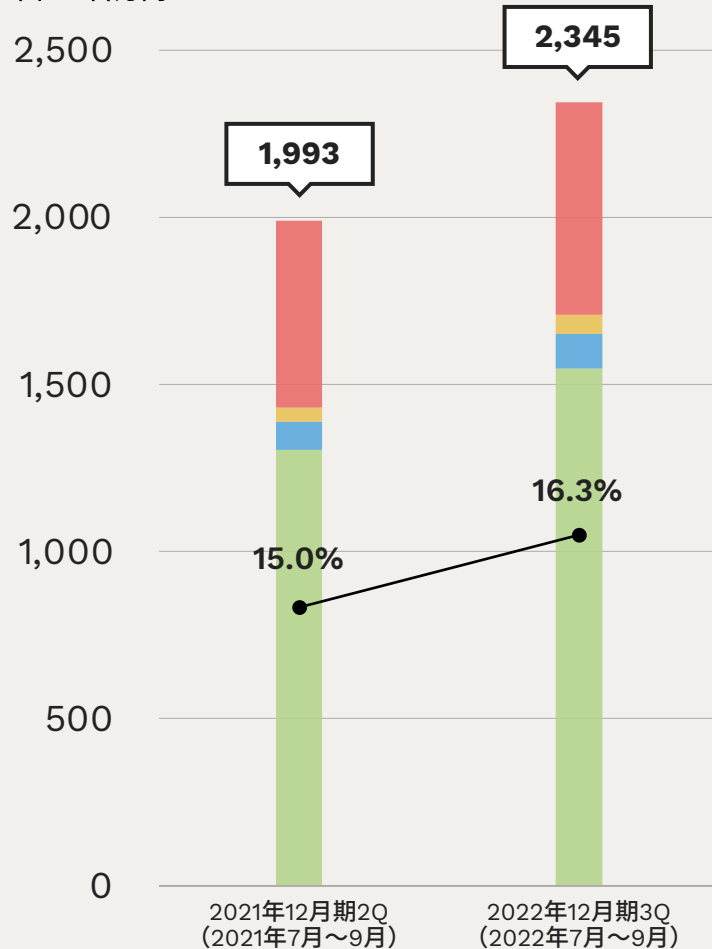
当四半期売上総利益 25億85百万円

前年同四半期比：1億6百万円増（4.3%増）

売上総利益率：18.0%（0.7ポイント減）

販管費の前年同四半期比較

単位：百万円



当四半期販管費 23億45百万円

前年同四半期比：3億52百万円増（17.7%増）

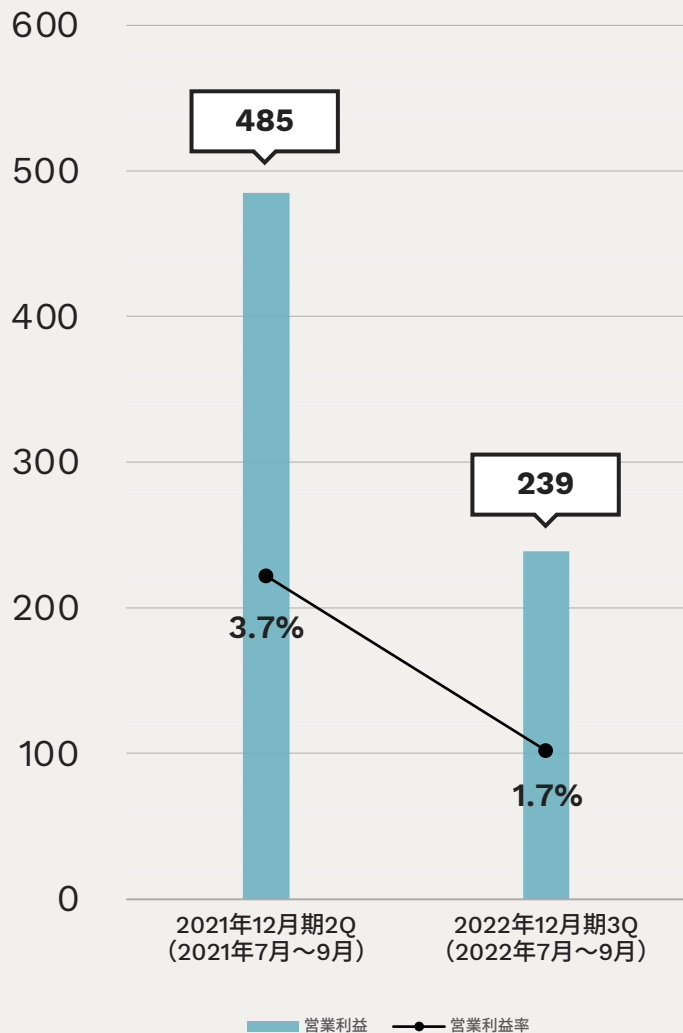
販 管 費 率：16.3%（1.3ポイント増）

主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加：約2億42百万円増

営業利益の前年同四半期比較

単位：百万円



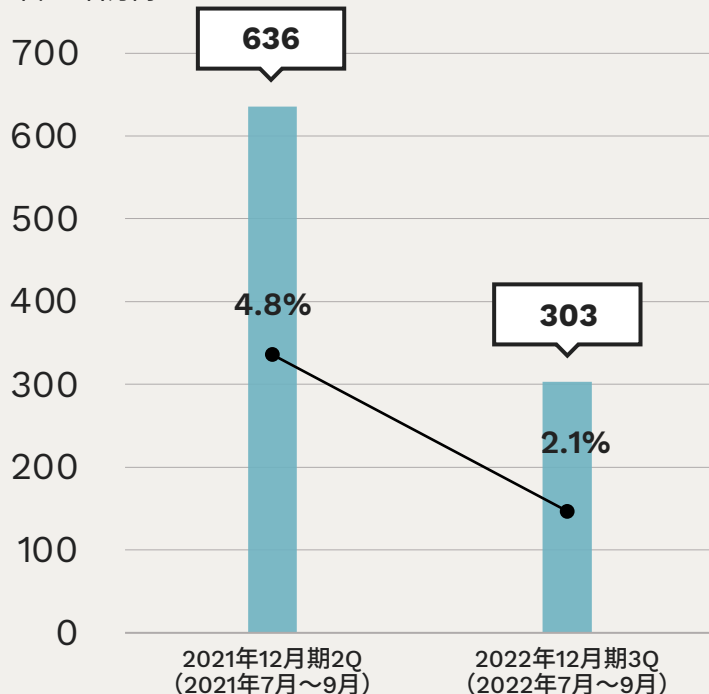
当四半期営業利益 2億39百万円

前年同四半期比：2億45百万円減（50.6%減）

営業利益率：1.7%（2.0ポイント減）

経常利益の 前年同四半期比較

単位：百万円



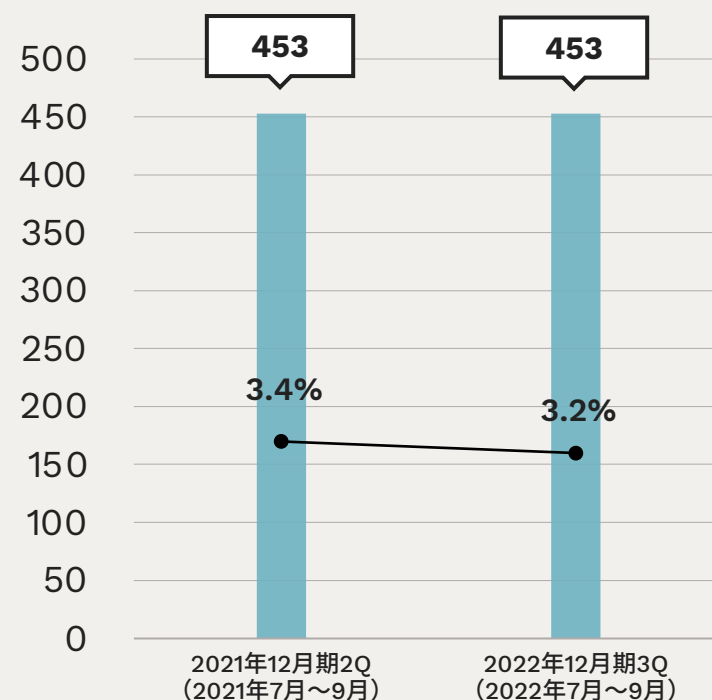
当四半期経常利益 3億3百万円

前年同四半期比 : 3億32百万円減 (52.3%減)

経常利益率 : 2.1% (2.7ポイント減)

親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前年同四半期比較

単位：百万円

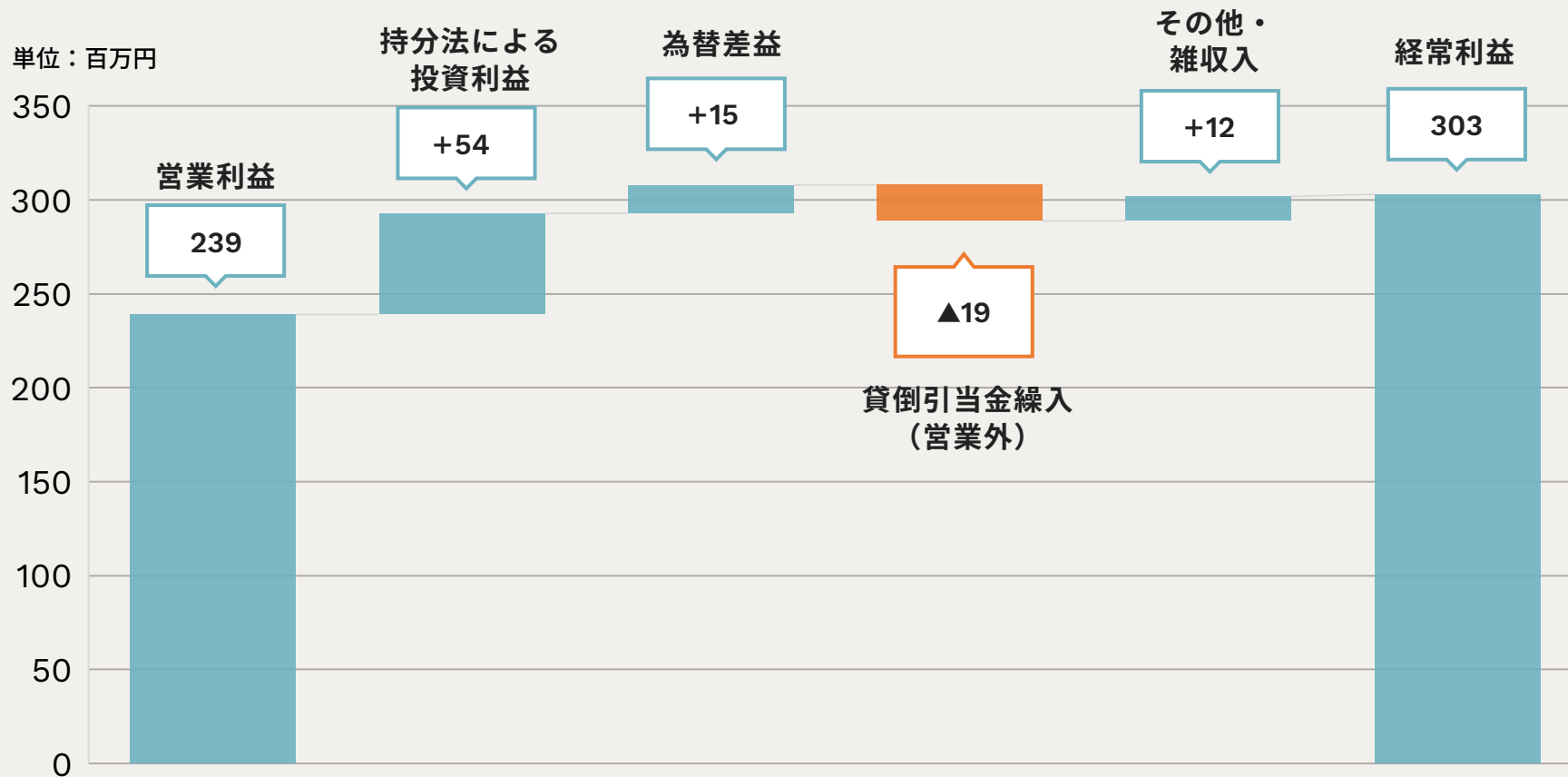


親会社株主に帰属する
当四半期純利益 4億53百万円

前年同四半期比 : 0百万円増 (0.1%増)

利益率 : 3.2% (0.2ポイント減)

経常利益の推移



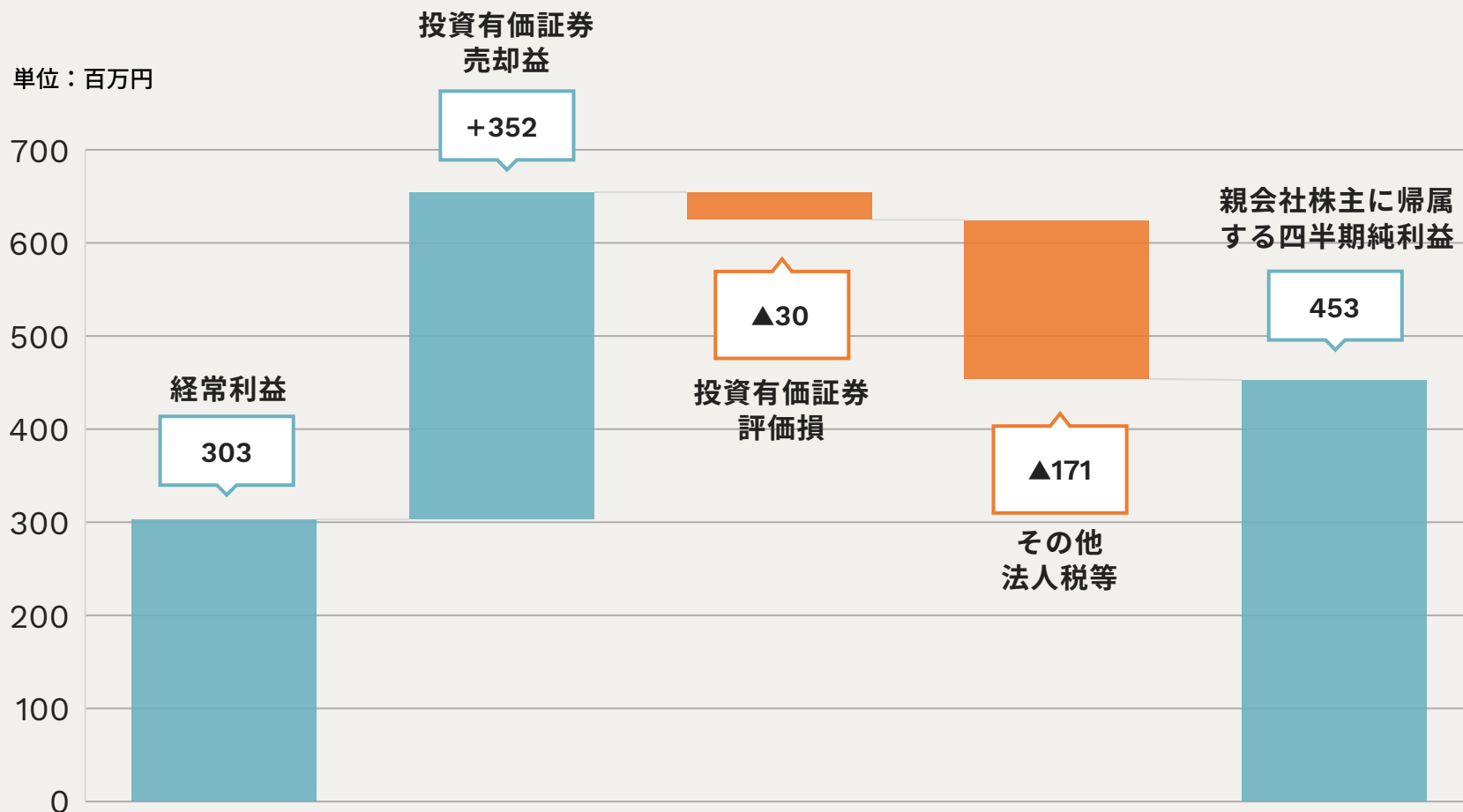
持分法による投資利益 . . . 54百万円

為替差益 . . . 15百万円

その他・雑収入 . . . 12百万円

貸倒引当金繰入 (営業外) ▲19百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



投資有価証券売却益 3億52百万円

投資有価証券評価損 ▲30百万円

その他法人税等 ▲1億71百万円

人・事業・機械への投資

2022年12月期 投資予定額：約8.4億円

事業年度	投資予定額	業績予想の営業利益	投資前営業利益
2022年12月期	約8.4億円	14.2億円	約22.6億円



人への投資
(人員強化)

約3.9億円



事業への投資
(事業拡大)

約1.4億円



機械への投資
(業務効率化)

約3.1億円



第3四半期
投資進捗

○：計画通り △：計画を下回る ×：計画を大きく下回る

「人への投資」「事業への投資」「機械への投資」を行い
広告事業の地盤固めを行う。

2.

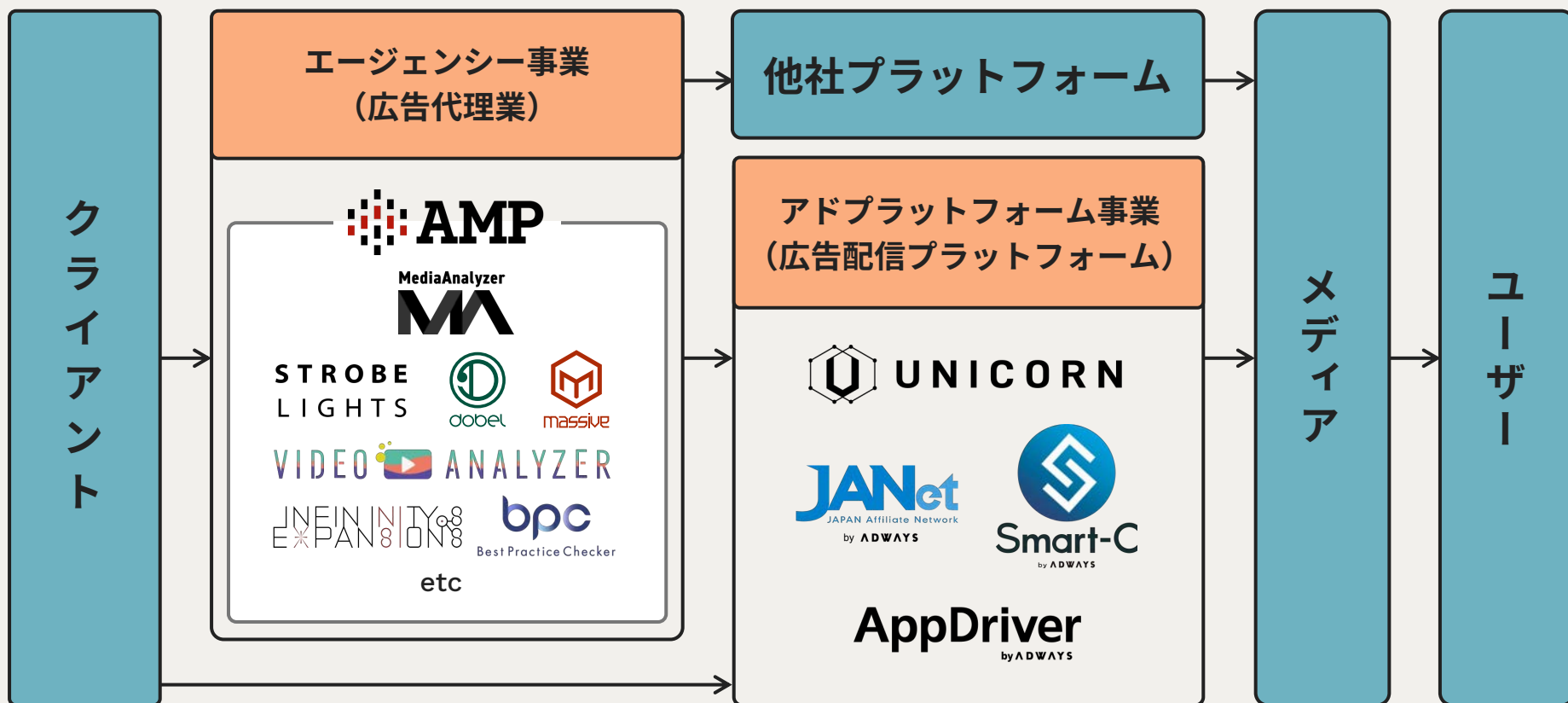
Chapter2 : business overview

事業概況

広告事業の概況

Third quarter

広告事業の分類



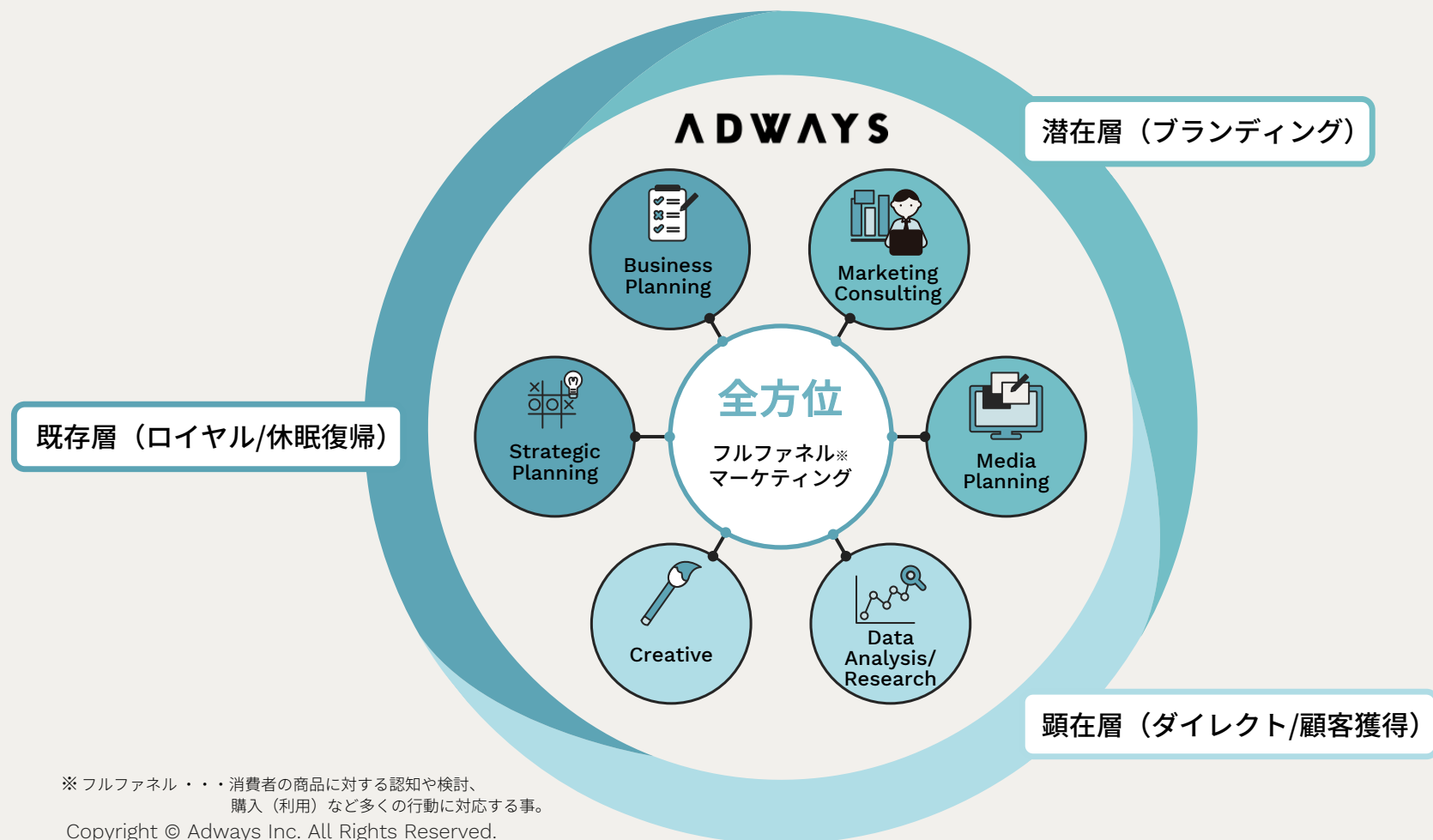
広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エー・ジ・エ・ン・シー 事業（国内・海外）

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 事業方針

オフライン&オンラインの統合プランニングにより
マーケティング領域を全方位カバー

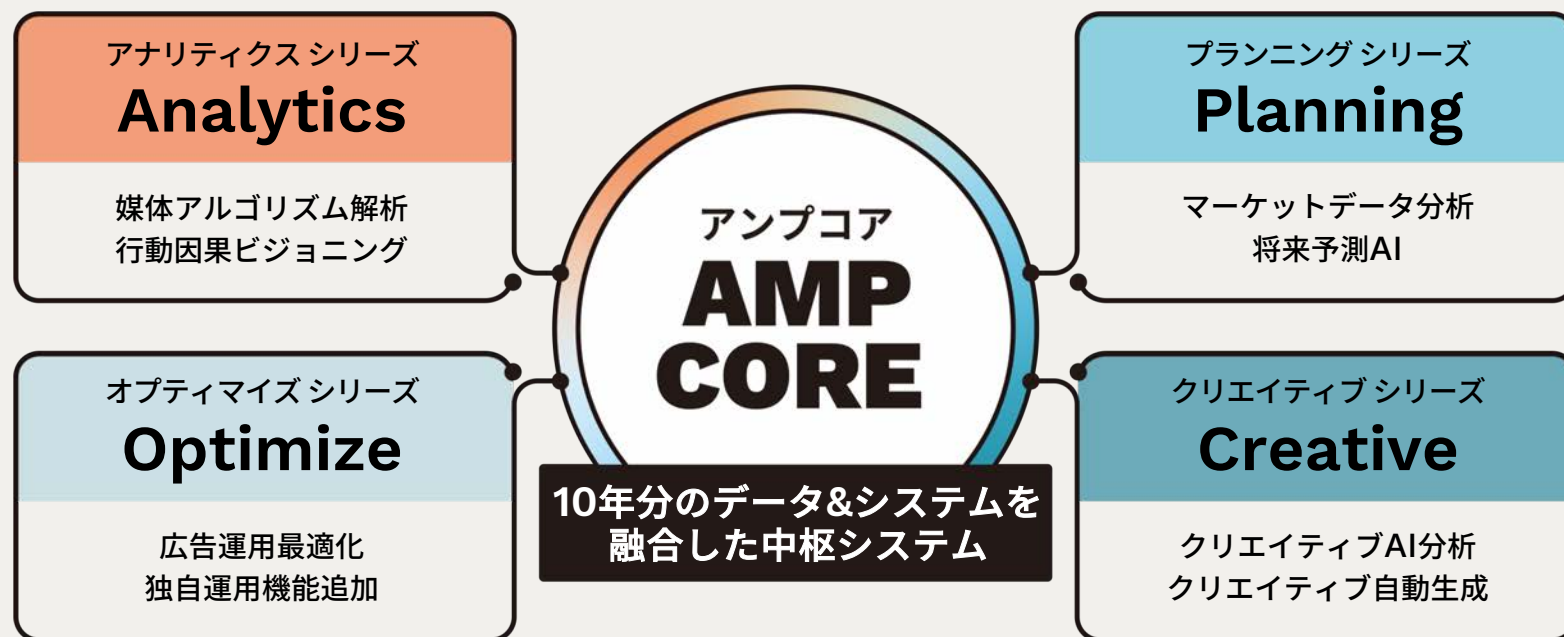


次世代のデジタル広告最大化ソリューション



10年に及ぶアドウェイズの 運用型広告支援の全てを統合

「AMP」は、アドウェイズがこれまでに手掛けた運用型広告支援システム群をすべて統合し、それらに蓄積された10年分のデータを融合させ新開発した中枢システム「AMPコア」を搭載したソリューション群です。



主要メガプラットフォームに対応した広告最適化プロダクト



アナリティクスシリーズ
Analytics

Google広告対応

MediaAnalyzer
MA4G



**Graphic Equalizing
System**

Meta広告対応
(Facebook・Instagram)

MediaAnalyzer
MA4M



**Creative Sustainer
System**

その他主要メガプラットフォームの特性に合わせた
プロダクトを続々リリース予定。

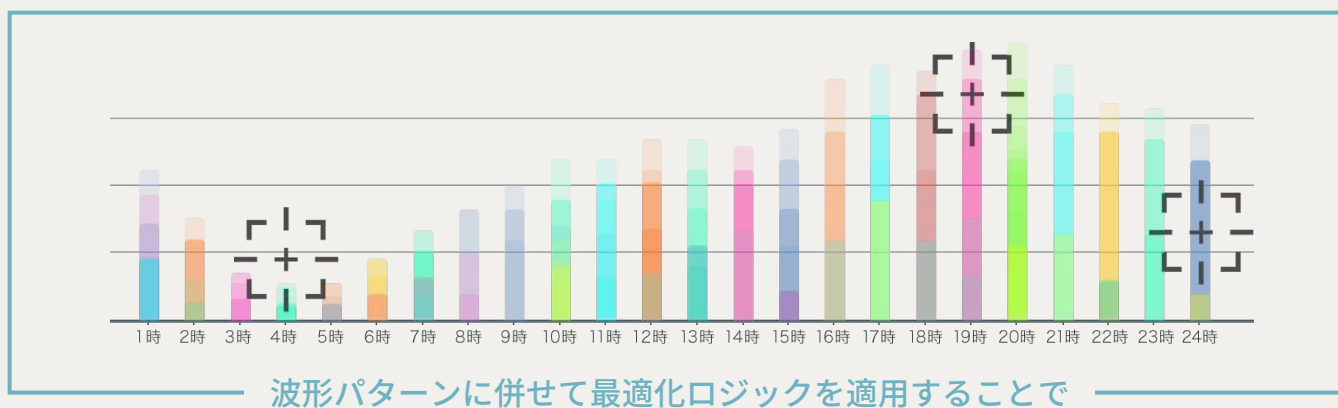
for Google AMP メディアアナライザー4G

MediaAnalyzer
MA4G



**Graphic Equalizing
System**

AIが1時間単位の広告推移をリアルタイムで24時間365日監視・分析
広告効果を改善できる兆候のある波形を検知し、最適な配信ロジックを適用。



CV数 平均23.2%増加 **CPA 平均22.6%改善** ※先行テスト結果

広告推移における特徴的な波形を自動的に捉え、
高いレベルで再現性のある広告運用が可能に。

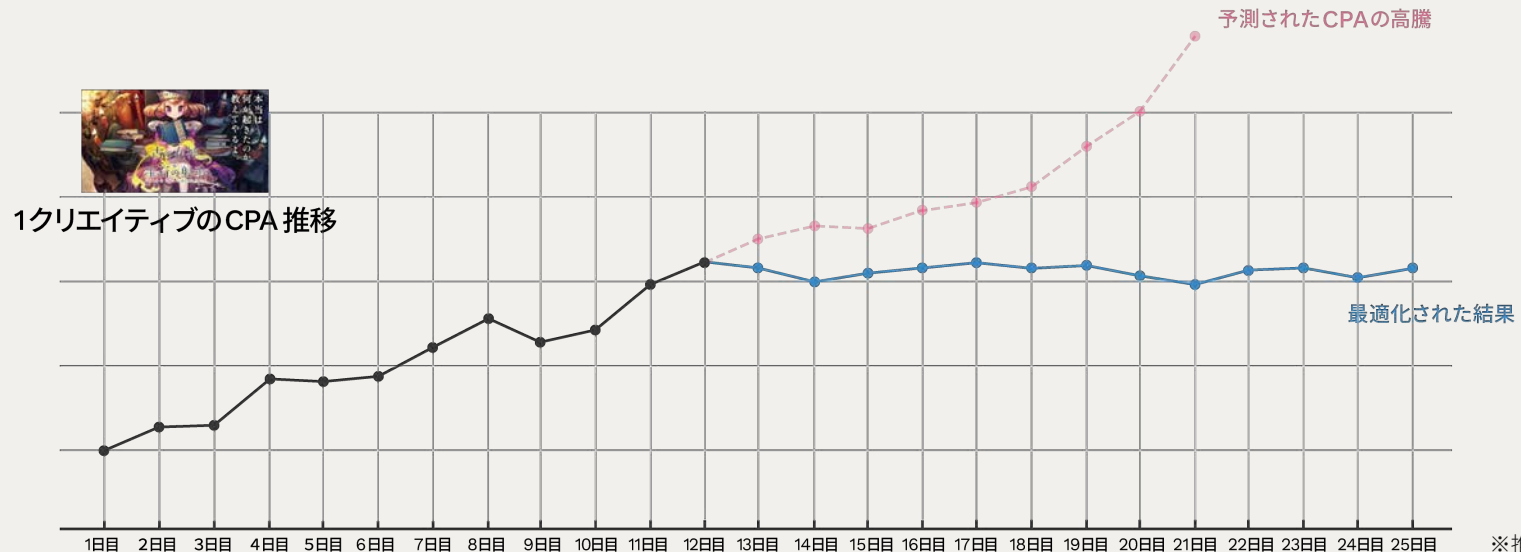
for Meta (Facebook、Instagram) AMP メディアアナライザー4M

MediaAnalyzer
MA4M



**Creative Sustainer
System**

AIが数万のクリエイティブのデータ推移データをリアルタイムで監視・分析。

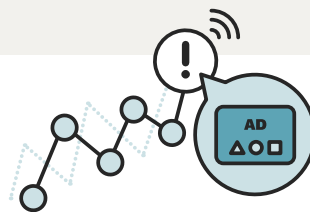
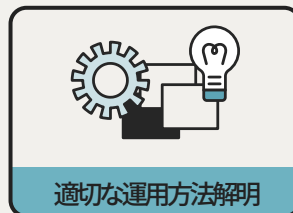
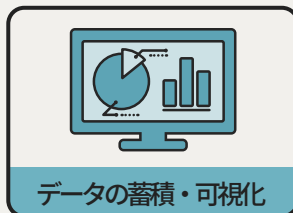


デモグラフィックデータ※や配信面ごとの詳細分析を行い、
Meta広告の特徴を最大限に活かすことで、持続的な広告効果の改善を図る。

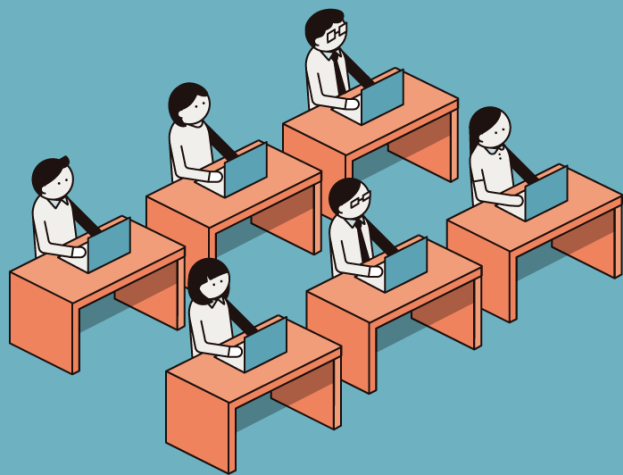
※デモグラフィックデータ・・・年齢、性別など人口統計学的なデータの事。

AMPシリーズを活用した 新次元の広告運用

MediaAnalyzer
MA



AIが広告最適化
ポイントを検知



一連のスキームによって、
広告運用業務から“担当者依存”を排除し、
どのようなジャンルの案件でも、
誰もが高いレベルで広告の運用が可能に。

資本提携契約による 戦略的パートナーシップの強化

当社グループが有する「運用力」「クリエイティブ力」「開発力」等と、
博報堂DYグループが有するテレビ×デジタルの統合プランニングやマーケティング戦略設計に
関するノウハウといった両グループの強みを更に掛け合わせ、より強固な協力体制を構築。

Hakuhodo DY holdings



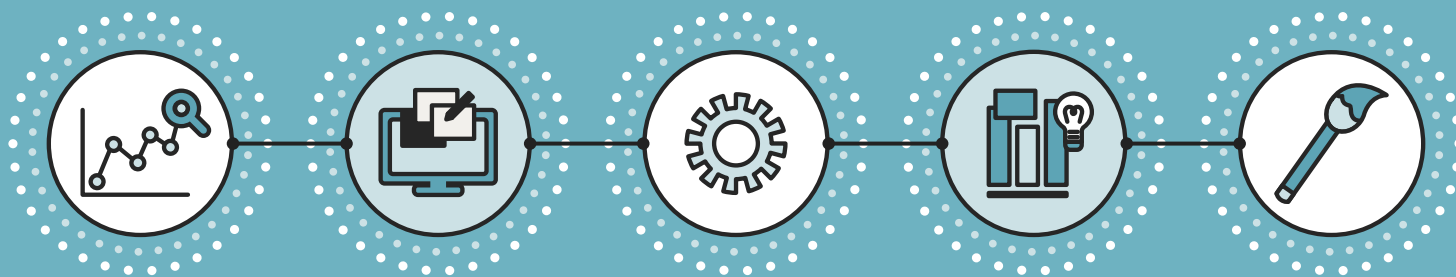
Hakuhodo DY
media partners

テレビ×デジタルの統合プランニングや
マーケティング戦略設計に関するノウハウ



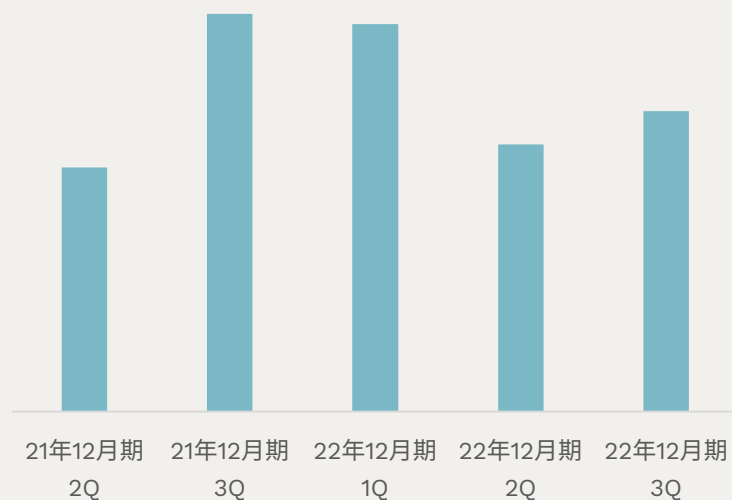
ADWAYS

運用力・クリエイティブ力・開発力

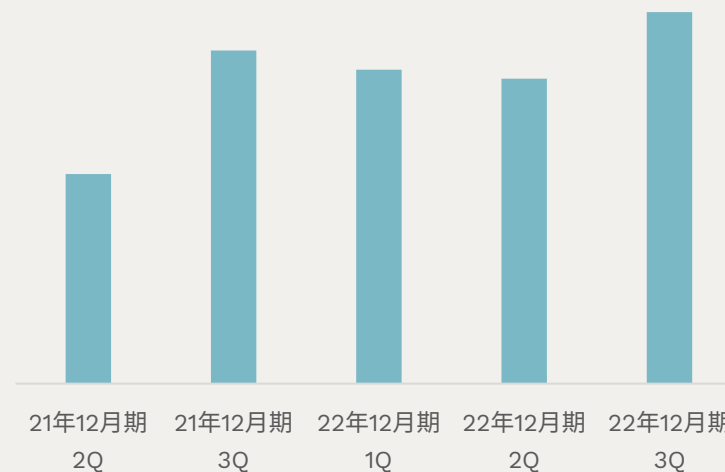


博報堂 D Y グループ 資本業務提携の 進捗

博報堂 D Y グループ 協業
取扱高推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移

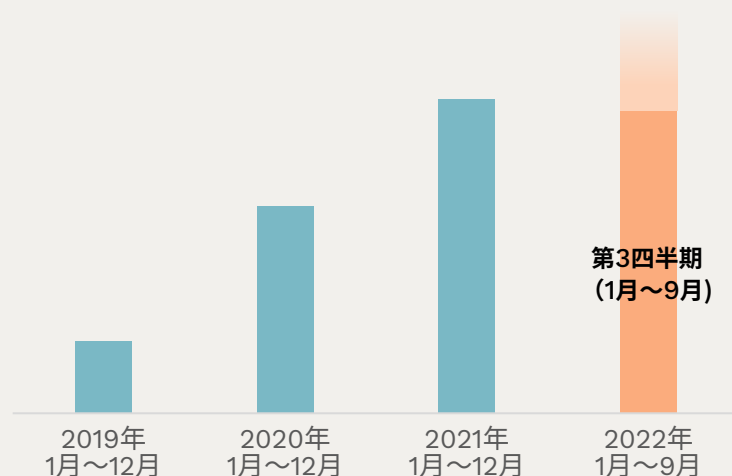


前年同四半期（2021年7月～9月）比で、
取扱高、アカウント数についても伸長。

海外におけるマーケティング支援事業

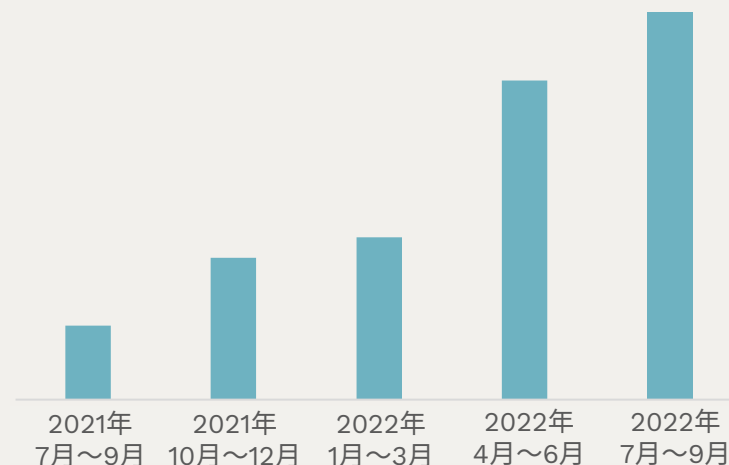
台湾

取扱高推移



中国

OrangeStar 取扱高推移



台湾では、ブランド・ECクライアントへのLINE広告やLINE公式アカウントを活用した「IDEA Push」などLINE広告取扱高が好調に推移。

中国におけるライブコマースをメインとしたEC及びコンテンツマーケティング支援事業「OrangeStar」の取扱高は好調に推移。

アドプラットフォーム フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業

アドプラットフォーム事業 事業方針

プロダクトフェーズに合わせた戦略、施策実施



ジャンル拡大、ブランド広告主への取り組み強化



新たな価値創出に向けたプロダクトの再構築

The background features a dark space with several concentric circles in white, yellow, and blue. Scattered throughout are white dotted lines forming various geometric shapes and paths, resembling a network or constellation. The Unicorn logo, a stylized 'U' inside a hexagon, is centered above the text.

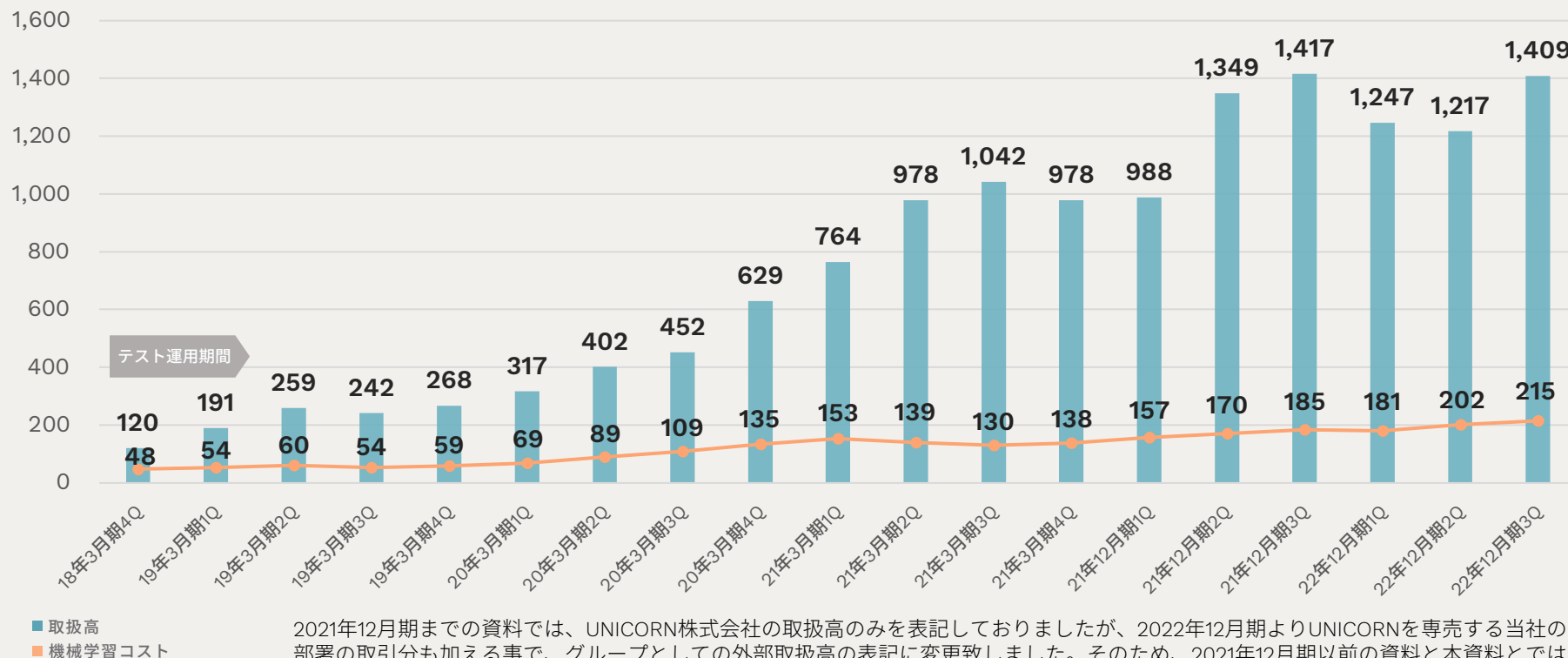
UNICORN
REDEFINE DIGITAL MARKETING

UNICORNの進捗

Third quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高は前年同期比で104%と伸長。

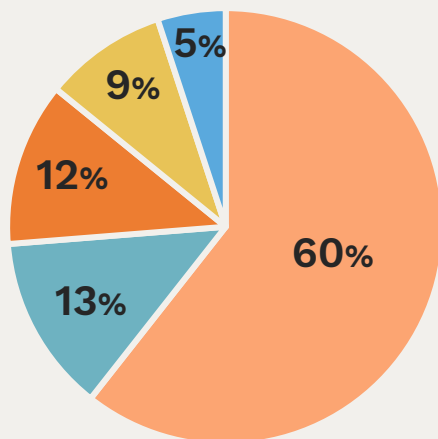
About UNICORN

UNICORNの進捗

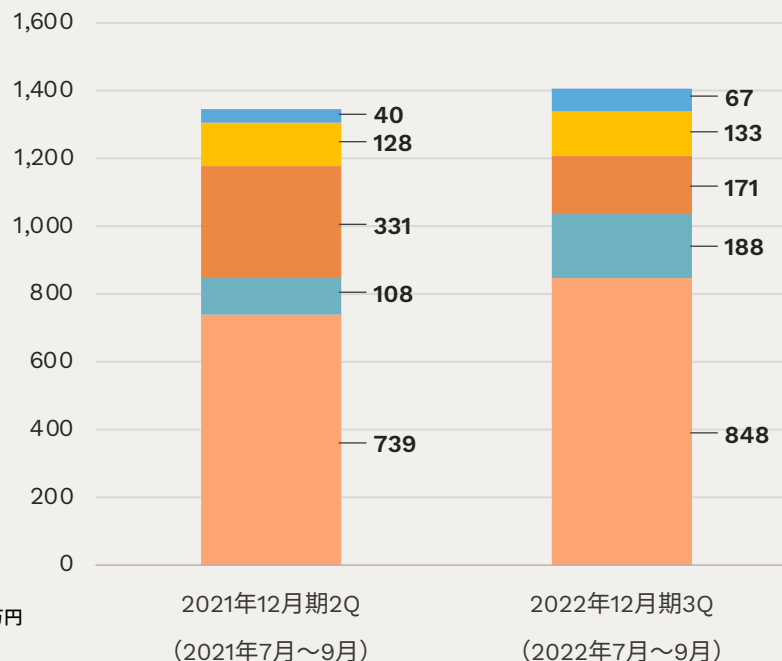
Third quarter

ジャンル別進捗

2022年12月期3Q実績



ゲーム ブランド マンガ VOD その他



単位：百万円

ゲーム ブランド マンガ VOD その他

2021年12月期まで「その他」に分類していた「ブランド」カテゴリを、2022年12月期より、個別で表示しております。

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

ゲーム・ブランドのカテゴリが大幅に伸長。

About UNICORN

UNICORNの進捗

Third quarter

UNICORNの業績：前年同四半期比較

[単位：百万円]

	2022年12月期 第3四半期 (2022年7月～9月)	前年同四半期比 2021年12月期第2四半期 (2021年7月～9月)		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,409	1,349	+60	+4.5%
売上総利益	490	412	+78	+19.0%
営業利益	133	127	+5	+4.4%

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。（他商材も扱う部署の取引分は加えておりません）

取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ伸長。

About UNICORN

App Store「検索」タブでの 全自動最適化配信の提供を開始



「検索」タブ



入札の
自動最適化

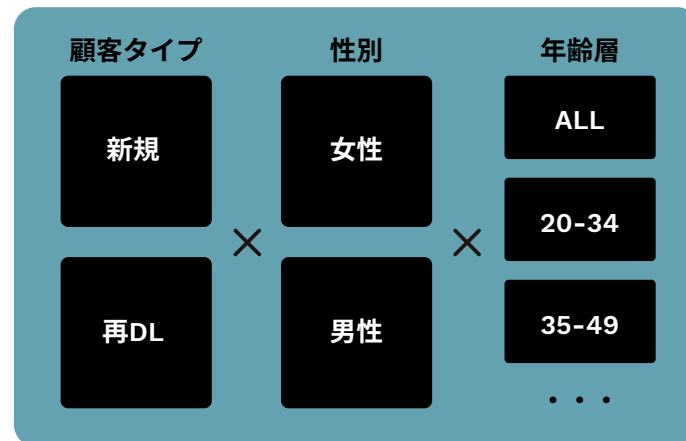
ターゲットCPI



×

機械学習

ユーザーセグメント

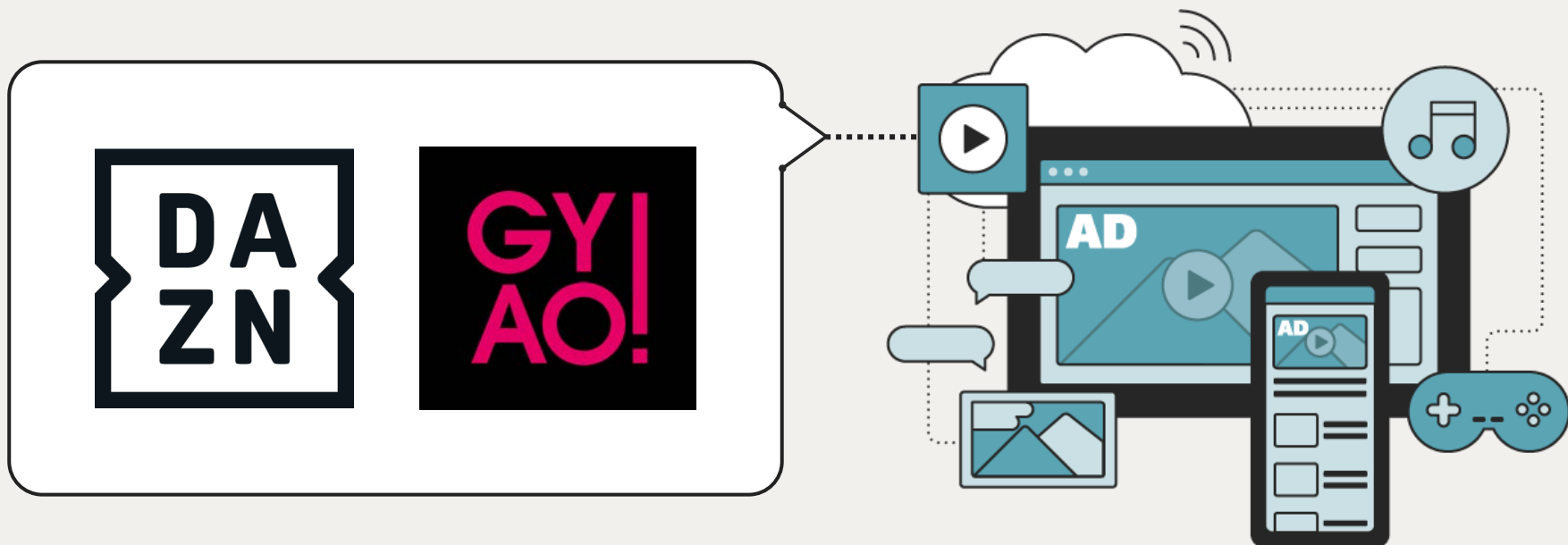


App Store検索タブ内Search tab広告（[あなたにおすすめ]枠）にて
キャンペーンを表示。アプリ検索前に、いち早く多くのユーザーの
興味を惹く事が可能に。

About UNICORN

OTT※向け広告配信を強化

動画ストリーミングサービス「DAZN」、「GYAO!」内の広告枠にて
プログラマティック取引での連携を開始。



プレミアムな動画広告枠への広告配信が可能に。
クライアントのブランドの認知やユーザー獲得、
より高い広告の費用対効果を実現。

※OTT (Over The Top) ……インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称

About **UNICORN**

ブロックチェーンゲームに特化した 広告プラットフォーム「DAVINCI」

株式会社ForN、株式会社Daysと、ブロックチェーンゲームに特化した
広告プラットフォーム「DAVINCI」の開発に伴う基本合意契約を締結。



「DAVINCI」はUNICORNをベースに開発・提供予定。

About UNICORN

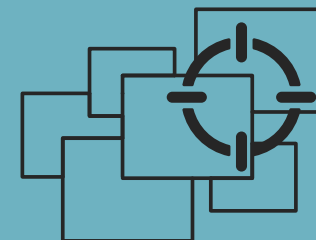
先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD

Third quarter



最先端の クリエイティブフォーマット

Banner／Video
Reward Video
Native／Interactive

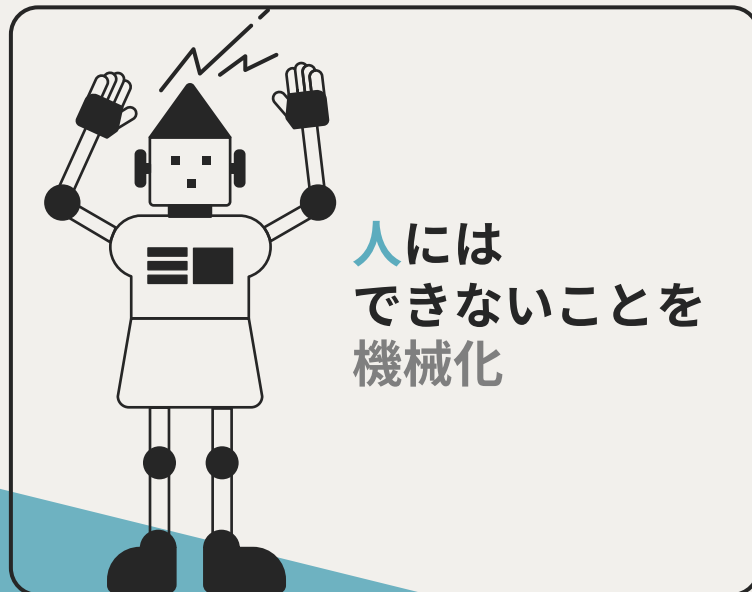


UNICORNでの 高精度な配信最適化

コンテキスト／ロケーション
デモグラフィック
キャリア／承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、
これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

人と機械の共生



×



パフォーマンスの最大化



Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

はい、すげー
みんなの初めて

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2022年11月2日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

3.

Chapter 3 : Supplementary materials

補足
資料

連結取扱高 年間業績推移

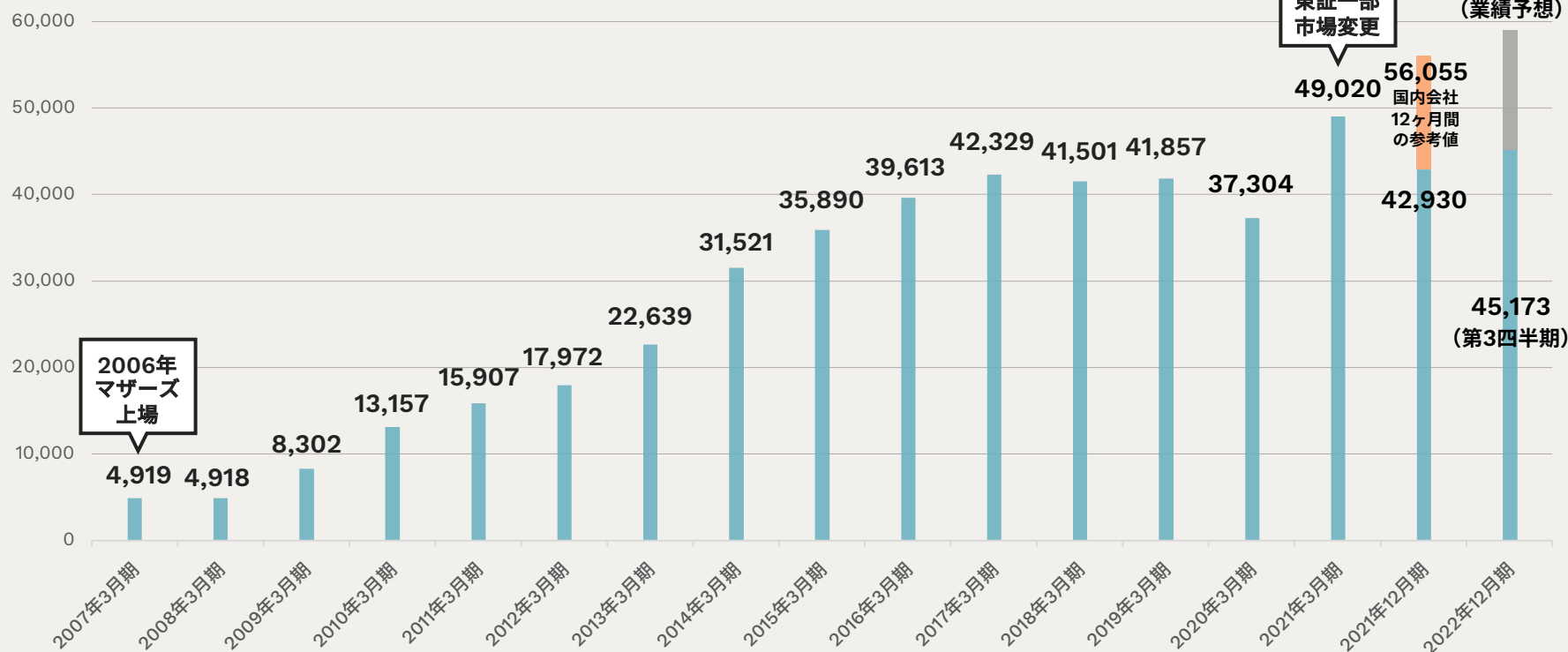
PC/フィーチャーフォン
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業
の開始と拡大

海外への注力

新規プロダクト
への注力

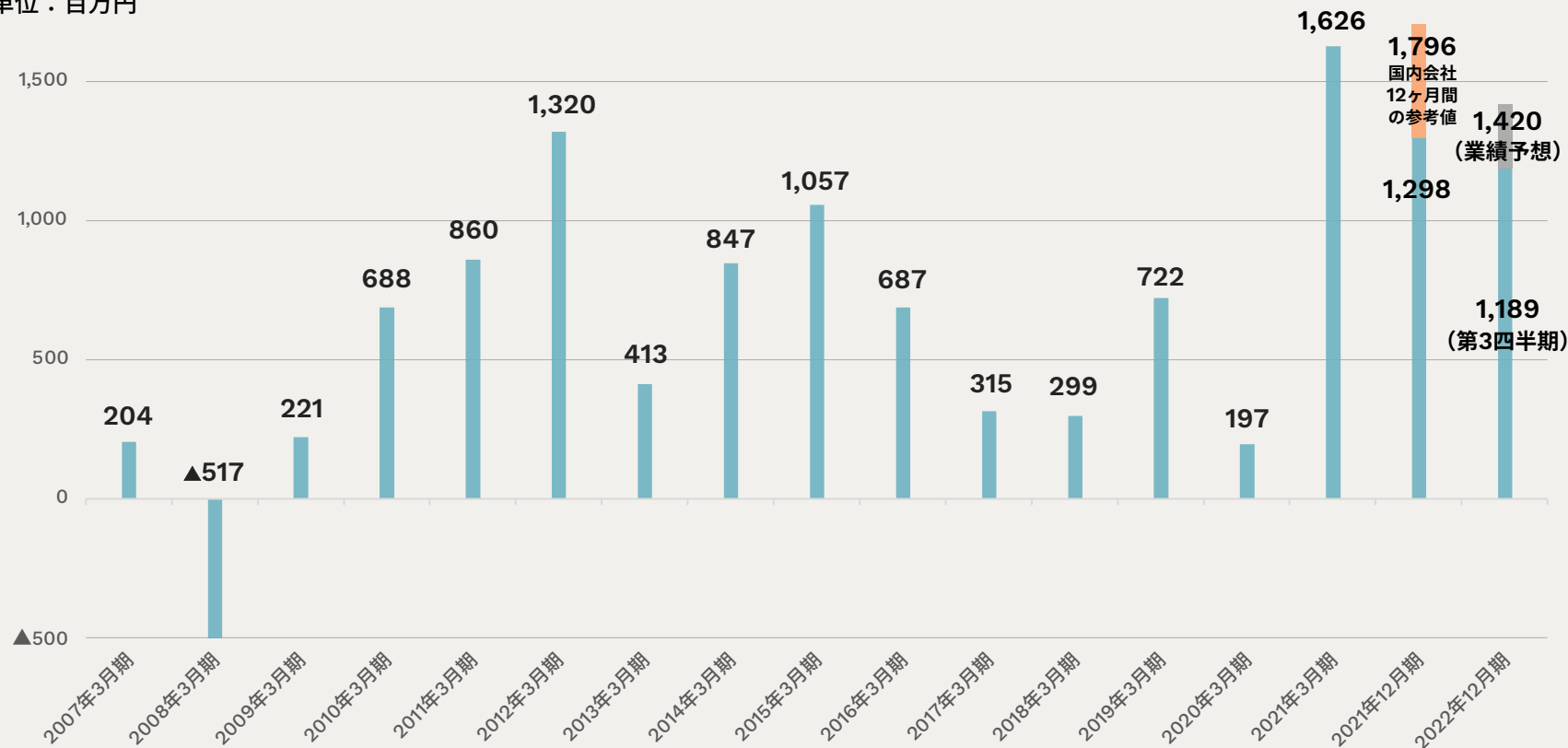
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

連結営業利益 年間業績推移

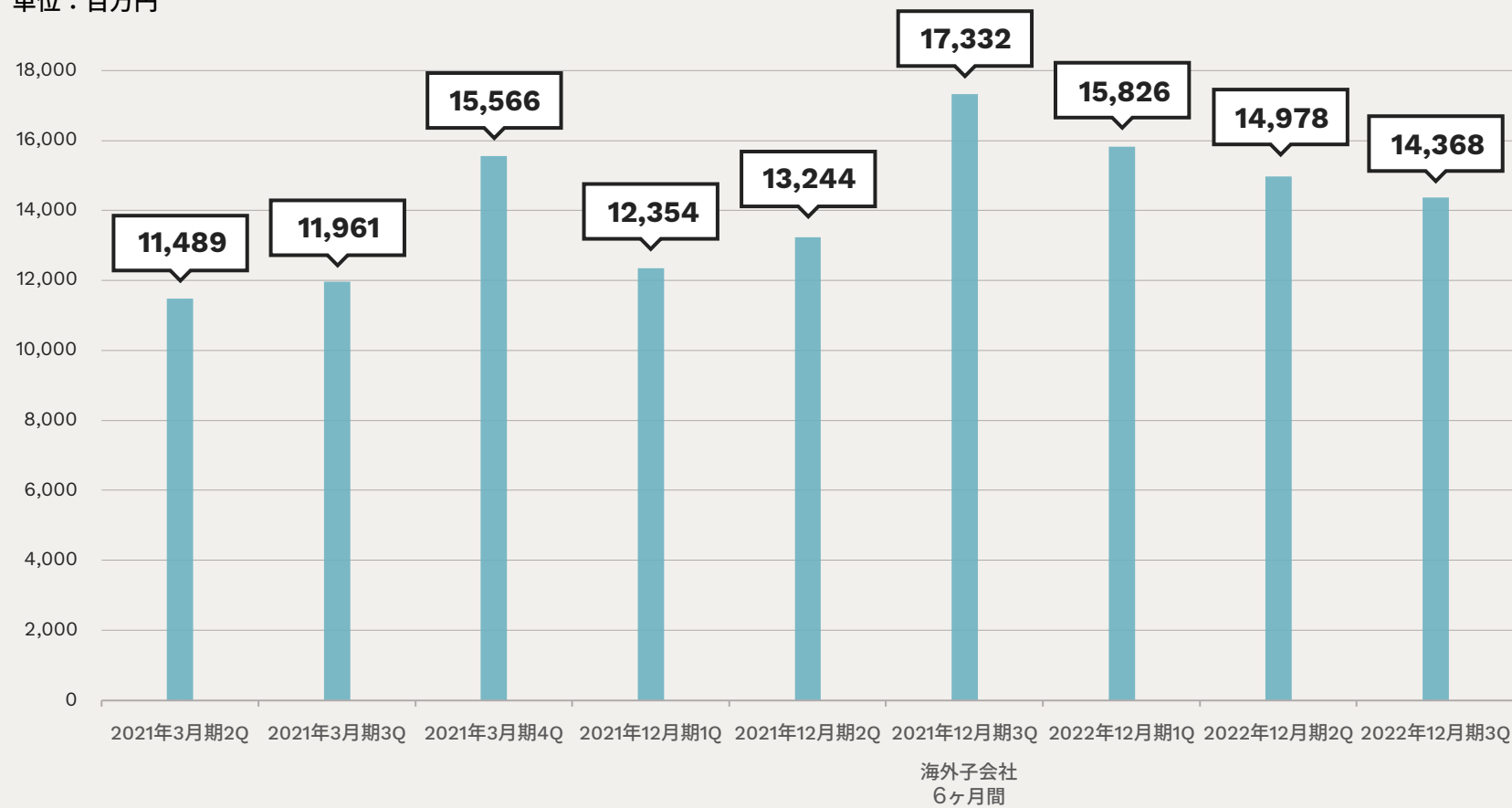
単位：百万円



※2021年12月期「国内会社12ヶ月間」は、2021年12月期の実績に、2021年3月期第4四半期(2021年1月～3月)の国内会社を加えた参考値です。
(決算期の変更に伴い、2021年12月期は国内会社の会計期間が9ヶ月間となります)

連結取扱高 四半期推移

単位：百万円

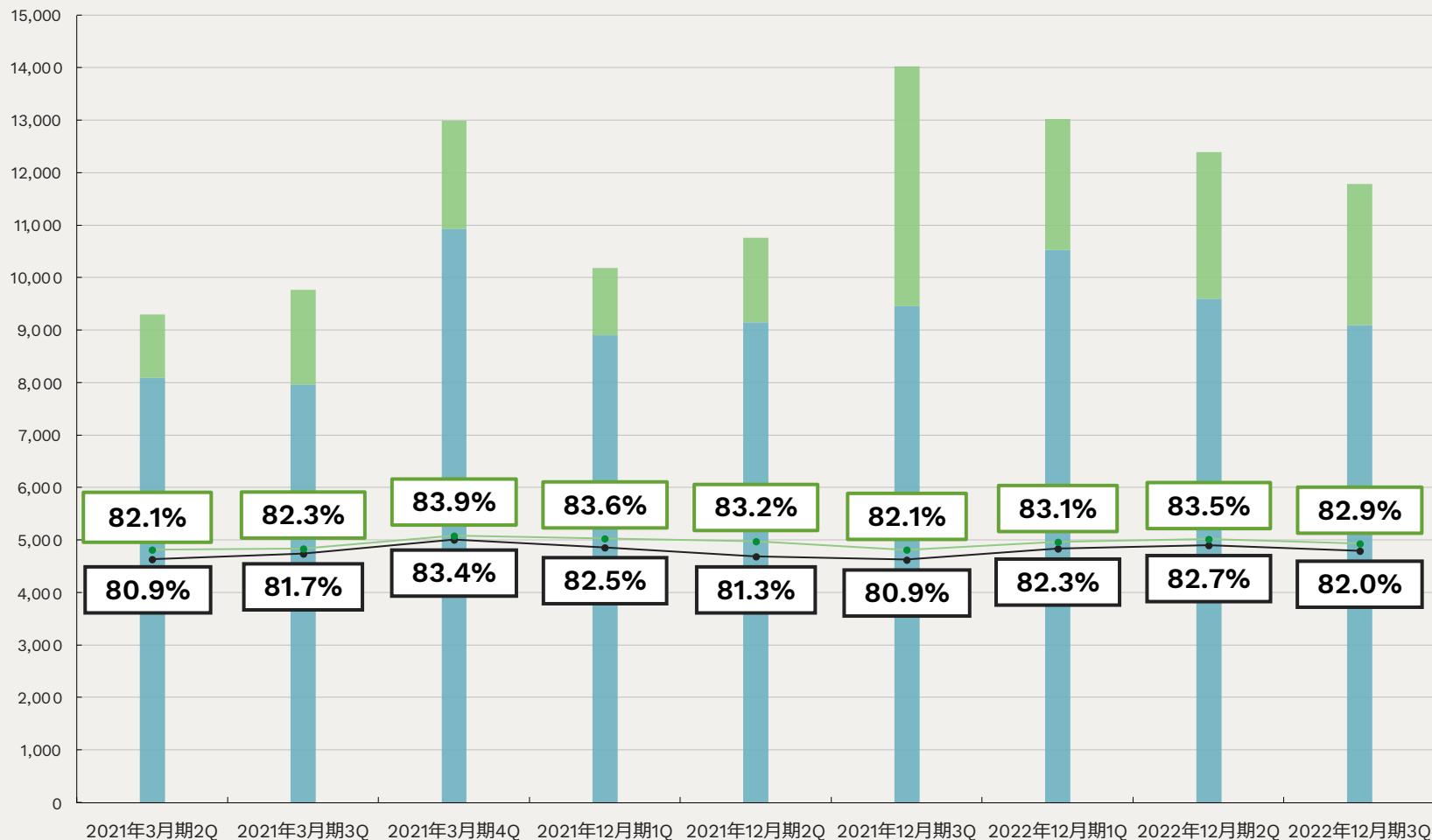


※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結売上原価 四半期推移

単位：百万円

■ 掲載料 ■ その他原価 ● 売上原価率 ● 掲載料率



海外子会社
6ヶ月間

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

※掲載料、掲載料率は単体での数値となります。

Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

連結販管費 四半期推移

単位：百万円

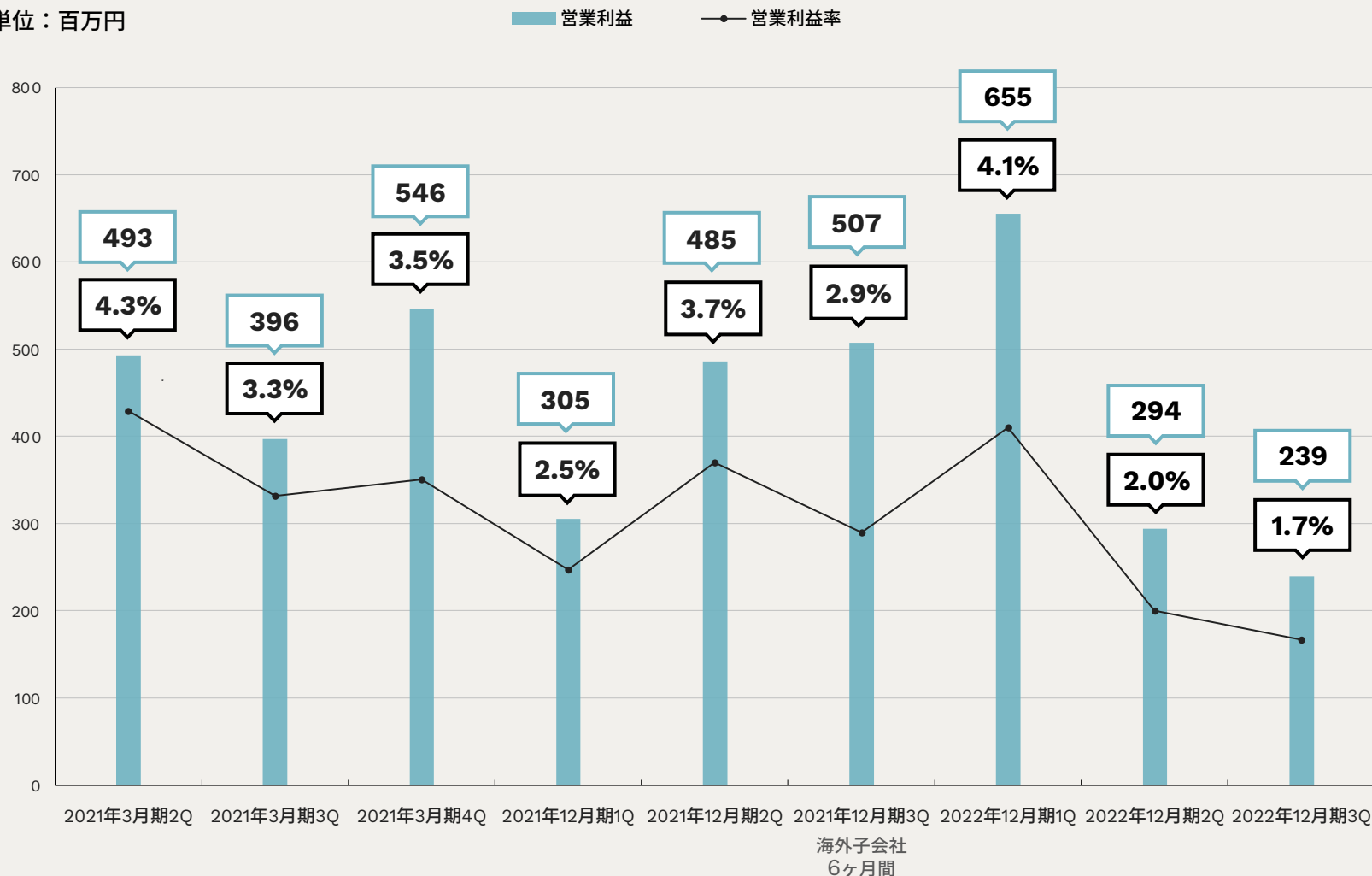
■ 人件費
 ■ 採用教育費
 ■ 地代家賃
 ■ 減価償却費
 ■ その他経費
 —●— 販管費率



※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結営業利益 四半期推移

単位：百万円



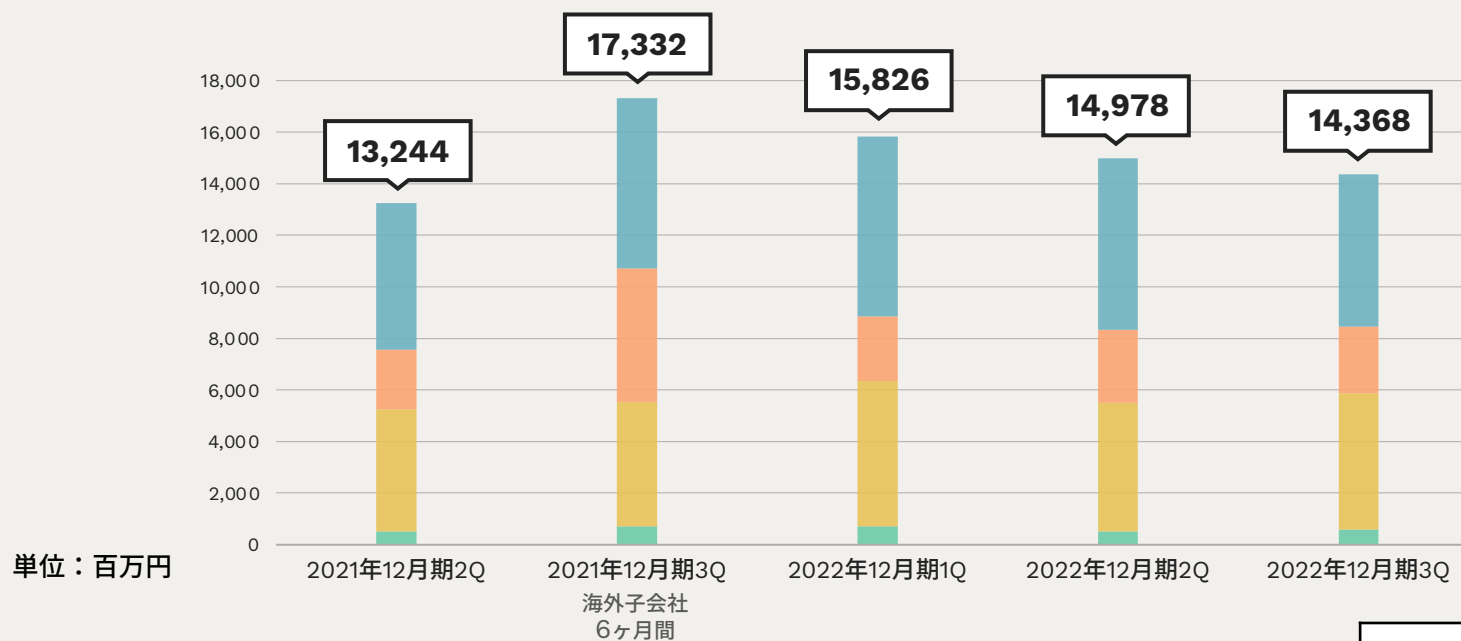
※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

連結貸借対照表（前四半期比）

[単位：百万円]

	2022年12月期3Q	2022年12月期2Q	増減額	増減率
流動資産	21,520	21,033	+487	+2.3%
（現預金）	12,180	12,528	▲348	▲2.8%
固定資産	7,444	5,791	+1,652	+28.5%
総資産合計	28,964	26,824	+2,139	+8.0%
流動負債	10,477	10,181	+295	+2.9%
固定負債	1,209	845	+364	+43.1%
負債合計	11,687	11,027	+660	+6.0%
純資産合計	17,277	15,797	+1,479	+9.4%

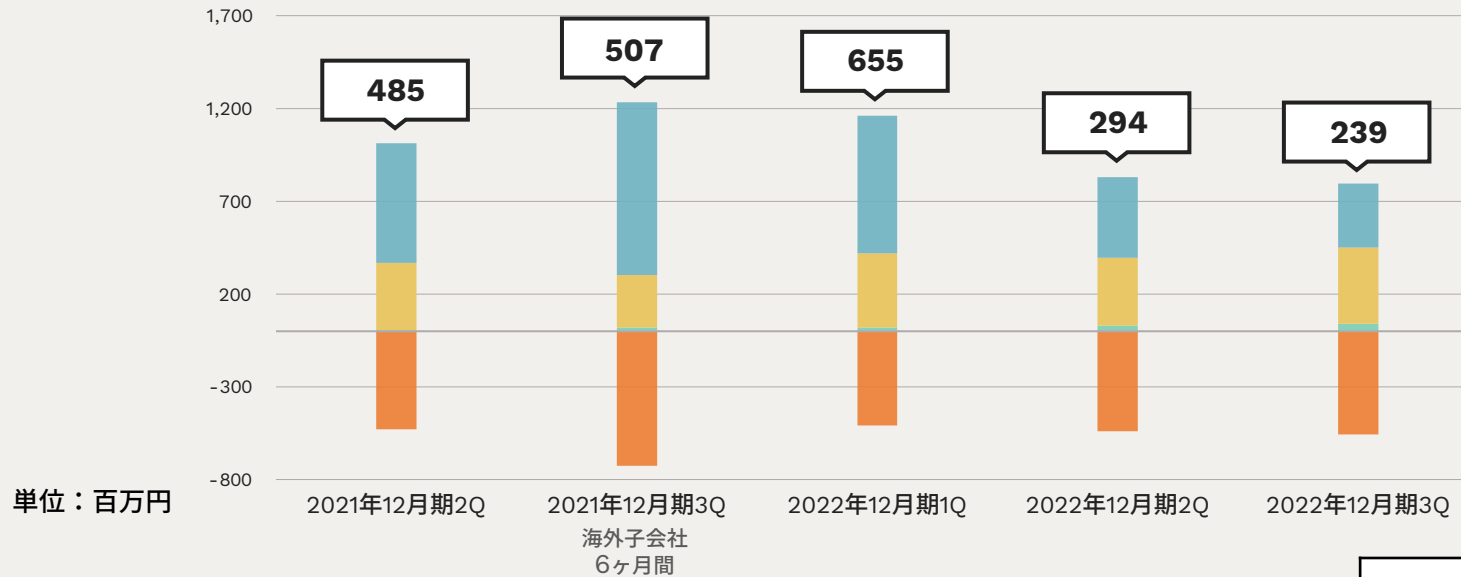
セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移



	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	2022年12月期3Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	5,686	6,618	6,957	6,651	5,904	▲747	▲11.2%
■ エージェンシー(海外)	2,291	5,179	2,526	2,814	2,578	▲236	▲8.4%
■ アドプラットフォーム	4,746	4,826	5,619	4,990	5,303	+313	+6.3%
■ その他	519	706	722	522	582	+59	+11.4%
合計	13,244	17,332	15,826	14,978	14,368	▲609	▲4.1%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

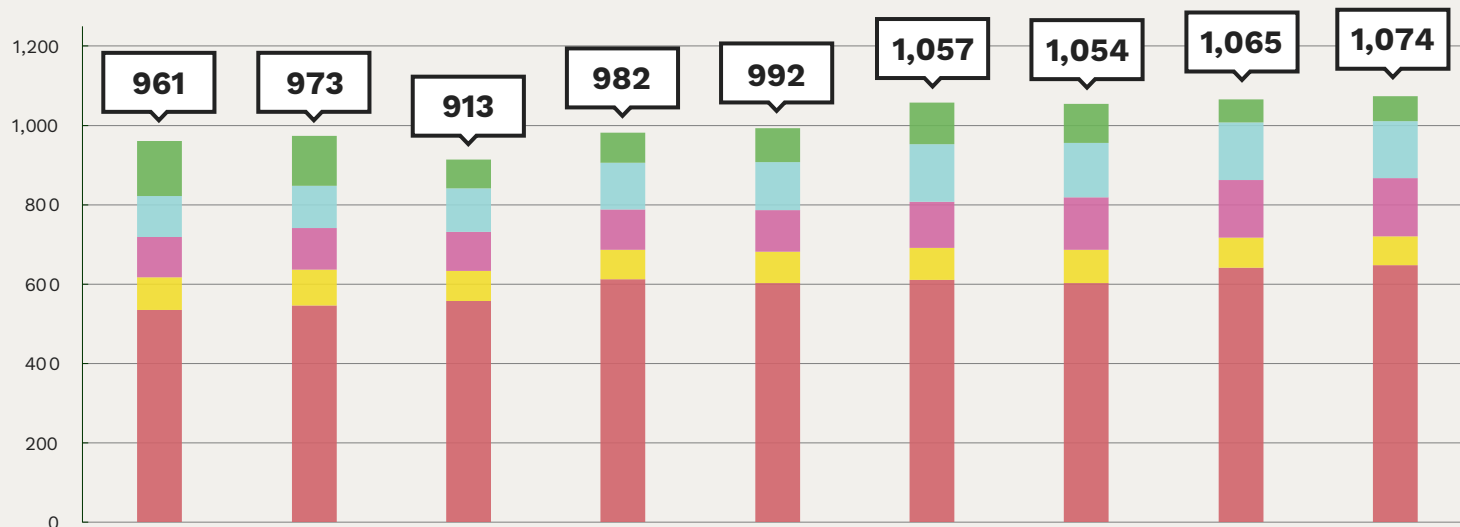
セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移



						前四半期比	
	2021年12月期2Q	2021年12月期3Q	2022年12月期1Q	2022年12月期2Q	2022年12月期3Q	増減額	増減率
エージェンシー	646	928	742	432	342	▲90	▲20.8%
アドプラットフォーム	360	283	399	368	410	+41	+11.3%
その他	7	21	20	37	42	+5	+13.7%
消去又は全社	▲529	▲725	▲507	▲544	▲555	▲10	—
合計	485	507	655	294	239	▲54	▲18.4%

※「2021年12月期3Q」は、決算期の変更に伴い、海外子会社の会計期間が6ヶ月間となります。

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名

	2021年 3月期2Q	2021年 3月期3Q	2021年 3月期4Q	2021年 12月期1Q	2021年 12月期2Q	2021年 12月期3Q	2022年 12月期1Q	2022年 12月期2Q	2022年 12月期3Q
日本アドウェイズ	535	546	558	613	602	611	603	641	648
中国アドウェイズ	83	90	75	74	79	80	83	76	72
国内子会社	100	105	99	101	106	117	132	146	147
海外子会社（中国以外）	104	107	110	117	120	144	138	144	143
派遣／アルバイト等	139	125	71	77	85	105	98	58	64
合計	961	973	913	982	992	1,057	1,054	1,065	1,074

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	山田 翔	
資本金	1,716百万円	[2022年9月末日現在]
取扱高	42,930百万円（国内会社9ヶ月間）	[2021年12月期連結]
従業員数 ※臨時雇用者含む	1,074名（グループ全体）	[2022年9月末日現在]